

令和2年度5月号 [5月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

5月17日

校長 安部正幸

5月17日は本校の開校記念日です。東中学校はこの4月に満73歳になりました。そして今、74年目を迎えています。川口市内には26の中学校があります。その中で東中学校は学校番号1番、名実ともに市内で最も伝統のある中学校です。

1947年4月1日誕生

東中学校は、1947年(昭和22年)4月1日に市内最初の中学校として、赤井修練場を仮校舎に発足しました。同年、5月17日に開校式を挙行し、この日を開校記念日として制定しました。2年後の1949年(昭和24年)1月の校舎落成にともない現在地に移転し、鳩ヶ谷中学校を分離しました。その後、1978年(昭和53年)4月に榛松中学校が分離し、現在に至っています。一時は、生徒数千人を超える時代もありました。現在の生徒数は630名、これまでに東中を巣立って行った卒業生は15105名です。

東中には校歌が2つあった

A「みどりの丘に色映えて、希望の窓は開かれぬ 歓喜にはづむ学び舎は、めぐみの光深々と」

B「見沼の丘に風は光り みなぎる若さ 東中学 団結 全力 真剣 努力 走れよ 白雲 東中学」(現在の校歌)

50周年まではAが『校歌』、Bが『東中学生の歌』でした。Aの歌詞に東中学という語句が含まれていないことや、曲が短い等の理由により、1955年(昭和30年)4月に第4代校長・四方田正作先生が

作詞作曲された『東中学生の歌』が制定され、様々な場面で歌われるようになりました。このため、生徒たちに多く歌われている『東中学生の歌』を50周年の慶事を機に正式に『校歌』と決めました。(参考文献：創立50周年記念誌「東風」)

今こそ伝統校の強さを

この校歌、今現在生徒全員で歌ったのは昨年度3学期の始業式(今年1月8日)が最後になっています。巣立って行った73期生は、卒業式でも歌うことができませんでした。73期生たちも、まさか3学期の始業式が最後の校歌斉唱になるとは思っていなかったと思います。

東中学校の長い歴史の中でも、このようなことは当然初めてです。しかし、東中が持っている伝統と歴史の力は、そのようなことでゆらぐものではないと考えます。今私たちが我慢し努力していることは、着実に数字となって表れてきています。新型コロナウイルスに打ち勝って、生徒の皆さんが元気に東中学校に通える日は必ずやってきます。もうひと頑張りです。それまでに私たちの心のどこかに潜む『偏見・差別』といった別のウィルスにも打ち勝っておく必要があると思っています。